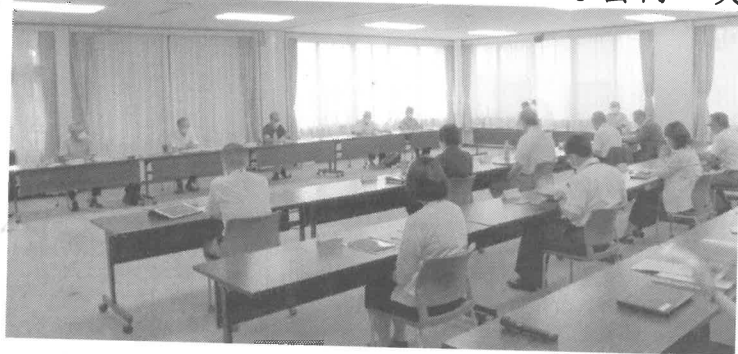


上教大、近隣町内会と懇談

上越教育大学は7月26日、近隣町内会との懇談会を開催し、写真Ⅱ、近隣の町内会長ら7名、上教大から学長、理事、副学長ら5名が出席した。

この懇談会は地元住民に上教大の活動への理解をより一層深めてもらい、上教大に対する協力や支援を得るとともに、



同大がさらに地域と連携・協力し愛され続ける大学となることを目的とするもの。平成26年度から実施しており、今年で8回目となる。懇談会では、林 泰成学長、矢崎雅之事務局長兼副学長が、新型コロナウイルス感染症に関する対応や財政状況をはじめ大学の現状などを説明した。

町内会から上教大への意見・要望が寄せられるなど、終始、活発な意見が交わされ、協力体制を確認するなど、相互の理解を深める上で有意義な機会となった。

HUSA留学生が高校への出張授業に参加 (広島大)

広島大学では、大学院人間社会科学部教育科学コースによる学部フロンティア大学附属香川高校への出張授業に、同大短期交換留学プログラム(HUSA)留学生らが参加した。出張授業に参加したのは、フランスのトゥールーズ・ジャン・ジョレス大からの交換留学生ジーン・ナウジャックさん(HUSA)とア

遺伝子組換え実験への理解高める

大教大がeラーニング形式の教育訓練

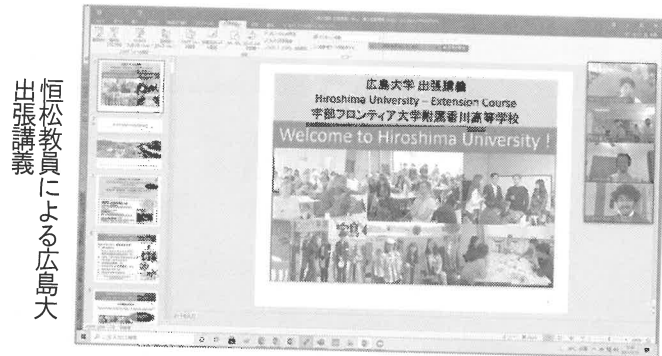
大阪教育大学では、令和3年度の遺伝子組換え実験等の実施に関する教育訓練を、オンデマンド型eラーニング形式で行い、去る6月22日から7月5日の期間中に同大の学生・教員が受講した。

この教育訓練は、

アメリカ在住のキズナさん(HUSA)2020年度参加。

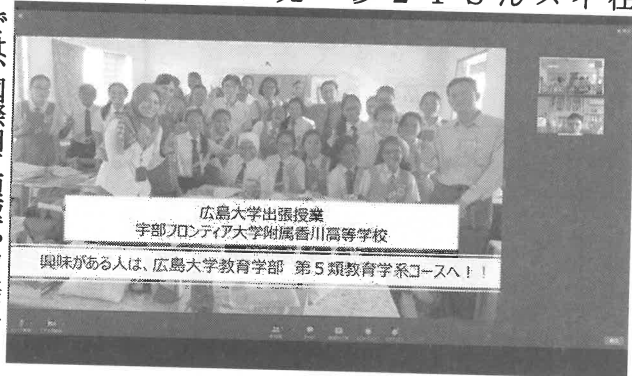
「観光から見た日韓交流」国際理解教育の実践(1) 時限目、小川佳万 教員担当では、国際相互理解や国際平和など観光の持つさまざまな意義について学んだ。

「大学国際化・異文化間理解」(2)時限目、恒松直美教員担当では、広島大に留学中のナウジャックさんと昨年度HUSAプログラムに参加し、現在米国在住のキズナさんから日本留学でのカルチャーショック体験や帰国後の「逆カルチャーショック」体験などを聞くことができ

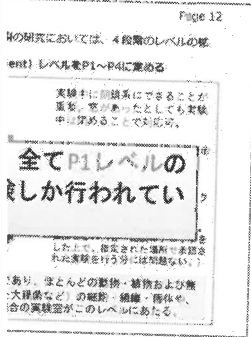


恒松教員による広島大出張講義

高校生にとっても留学生の実体験を知る貴重な機会となった。同大ではこれからグローバルな視野から高校と大学をつなぐ授業を構築し、留学生OBも交えた新しい国際教育の場を発展させることとしている。



小川教員による広島大出張講義



開するスライド